

令和3年9月11日
大町自治会役員会資料
防災防犯委員会

令和3年 秋の全国交通安全運動

【内閣府資料】

1. 目的

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

2. 期間

- (1) 運動期間 9月21日(火)から9月30日(木)まで
- (2) 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(木)

3. 主催

内閣府，警察庁，総務省，法務省，文部科学省，厚生労働省，農林水産省，経済産業省，国土交通省，防衛省，都道府県，市区町村，等

4. 運動重点

- (1) 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- (2) 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者の保護など安全運転意識の向上
- (3) 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- (4) 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

【趣旨】 全国重点を4点とする趣旨は以下のとおりである。

- (1) 交通事故死者数全体のうち、歩行中の割合が最も高いこと、歩行者側にも横断歩道外横断や車両等の直前直後横断等の法令違反が認められること、次代を担う子供のかげがえのない命を社会全体で交通事故から守ることが重要であるにもかかわらず、幼児・小学生の死者、重傷者は歩行中の割合が高く、依然として道路において子供が危険にさらされていること、また、歩行中の交通事故による死者のうち高齢者の占める割合が高いことから、これら歩行者の安全確保を図る必要があること

- (2) 秋口における日没時間の急激な早まりとともに、例年、夕暮れ時や夜間には、重大交通事故につながるおそれのある交通事故が多発すること、死亡事故の第1当事者の多くが自動車であること、「自動車対歩行者」の死亡事故の多くが歩行者の道路横断中に発生していることから、全ての自動車運転者の歩行者保護意識の向上が必要であること、75歳以上の運転者による免許人口当たりの死亡事故件数が、75歳未満の運転者と比較して多いこと、自動車乗車中における後部座席シートベルトの着用率やチャイルドシートの適正使用率がいまだ低調であること
- (3) 自転車は、身近な交通手段であるが、自転車関連の交通事故件数が減少傾向にある一方で、交通事故全体に占める割合は増加傾向にあり、「自転車対歩行者」の交通事故件数がほぼ横ばいで推移していること、自転車関連の死亡・重傷事故は自転車側の多くに法令違反があると認められること、また、業務中の交通事故が増加傾向にあることから、自転車利用者に対する交通ルール・マナーの周知徹底が必要であること
- (4) 飲酒運転、妨害運転（いわゆる「あおり運転」。以下同じ。）等の悪質・危険な運転による悲惨な交通事故が依然として発生していることから、その根絶が必要であること

5. 令和3年の調布市内交通事故発生件数(1月から7月まで)

【調布市ホームページ参照】

発生件数 224件
死者数 2人
重傷者数 7人
軽症者数 235人

調布市の交通事故の特徴

- (1) 第一当事者事故件数は40歳代(16件)が一番多い
- (2) 昼夜別では昼の事故が29件、夜3件。昼の事故が多い
- (3) 自転車の事故は131件。自転車が第一当事者の事故は91件
- (4) 飲酒事故は0件

6. 大町自治会実施事項

- (1) 交通安全運動のポスターを掲示板に掲示
- (2) 回覧文書の回覧
- (3) ホームページに掲示
- (4) 自転車の交通ルールを中心とした自治会ポスターの作成・掲示



◆ホームページを開設しました！

まだ完成形ではありませんが、会員の皆様との情報の共有化と迅速伝達のために、大町自治会の概要、組織案内、会則、活動報告等を掲載しました。



- ◆調布市大町自治会 ◆<https://ohmachi.1net.jp/>

以上